

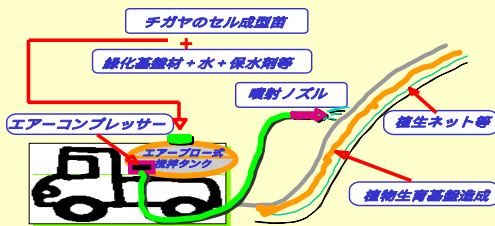
在来種「チガヤ」の機械吹き付け植栽工法

— ビオ・セル・ショット工法 による緑化技術 — 特許第3088984号

【背景・目的・成果】近年の大規模緑化は、特定外来生物被害防止法の施行以来、西洋芝など外来種子による植栽が敬遠、抑制されています。そこで、在来種であるチガヤとノシバを大規模に効率よく植栽するための方法を検討しました。その結果、チガヤ種子で、効率的なセル成型苗の育成ができ、ビオ・セル・ショット工法で、チガヤセル成型苗を吹き付ける植栽を可能としました。さらに、生育の速い日本シバ「みやこ」との混植が早期の植生完成には有効です。

施工システム

在来種「チガヤ」吹き付け植栽の概念図



セルトレイで育成したチガヤセル成型苗と緑化基盤材、水等を専用の吹き付け機械で混合攪拌し、植栽面に吹き付けて緑化します。

種子では不可能であった在来種チガヤの機械植栽を可能にしました。

在来種チガヤのセル成型苗が吹き付け植栽可能になりました！！



植栽状況

適用場所



植物苗と基盤材の混合攪拌



吹き付け植栽



植栽直後



道路法面、河川堤防



植栽3か月後(10月上旬)



植栽12か月後(7月上旬)、チガヤとノシバ(みやこ)混植



放牧地

【技術の活用】河川堤防、道路法面、畦畔(けいはん)とその法面、放牧地、荒廃地や開発地、さらには空港緑地帯などに適用でき、安定的で持続可能な在来種による地域生態系の維持や適正管理に寄与できます。

兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター 農業部
グラウンドカバープランツ緑化研究会